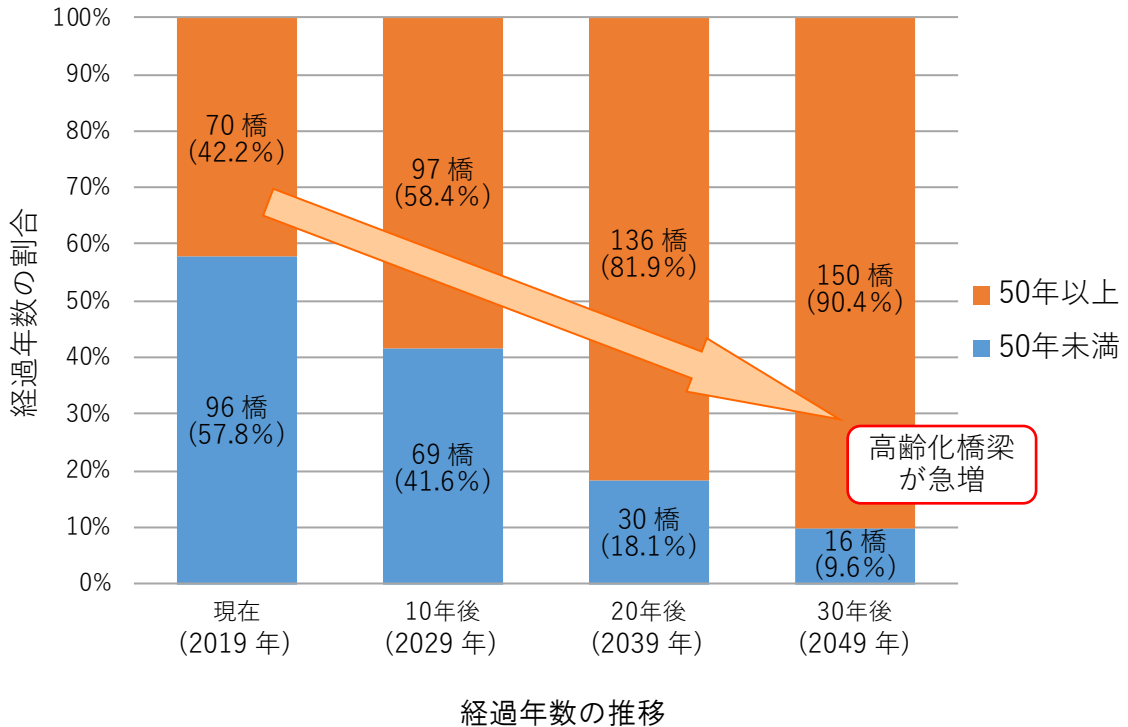


羽咋市 橋梁長寿命化修繕計画

1-橋梁長寿命化修繕計画策定の背景

◆羽咋市では、令和元年度現在 166 橋の橋（橋長 2m 以上）を管理しています。

◆市が管理している橋の中で、「高齢化橋梁」といわれる建設後 50 年以上を経過した橋の割合は、現在の 42.2%から 20 年後には 81.9%まで増加し、橋の高齢化が急速に進みます。



◆このような背景から、今後、橋の修繕・架け替え費用が急増することが予想され、これまで行われてきた損傷が進行してから修繕を行う「事後保全型」の管理では、修繕するための費用が不足し、安全性・信頼性を確保するための適切な維持管理が困難となる恐れがあります。

2-橋梁長寿命化修繕計画策定の目的

◆羽咋市では、令和元年度に次のことを目的とし、橋の長さが 2m 以上の全橋（166 橋）において橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。

- ①定期的な点検によって橋の損傷状況を把握し、計画的な維持管理を継続することにより、橋の安全性・信頼性の向上を図ること
- ②計画的な維持管理を継続すること
- ③「事後保全型」の管理から、点検結果にもとづき計画的に修繕を行う「予防保全型」の維持管理へ移行して、架け替えとなる橋を減らすことによりコスト縮減を図ること
- ④予防保全型の管理を実施し、橋の延命化を図ること

3-橋梁長寿命化修繕計画の概要

◆修繕計画の策定にあたり、今後、橋をどのように維持管理していくのかを整理しました。

- ①橋梁点検を定期的に行い、**損傷状況を把握**します。
- ②橋の規模（長さや幅）や、橋の下の利用状況（鉄道や道路）等に応じた、**重要性を把握**します。
- ③橋毎の損傷状況や重要性などを考慮した**対策優先順位を決定**し、その優先順位にもとづいた修繕を実施します。

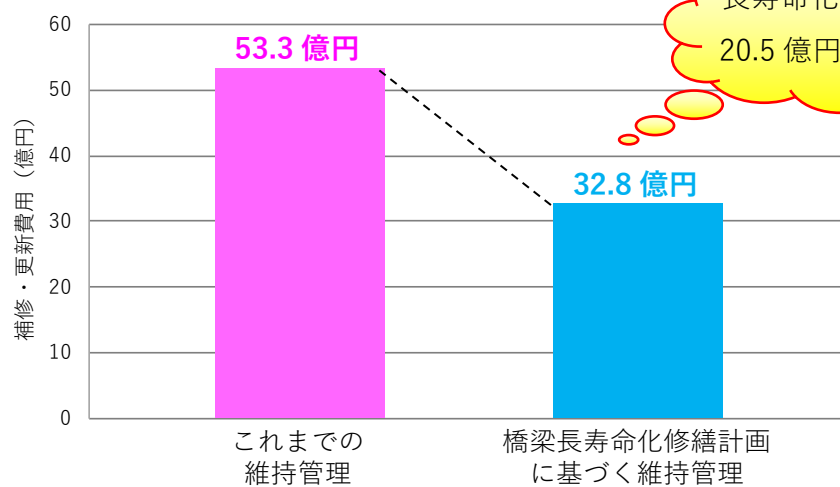


定期点検状況

◆優先順位の高い橋からの修繕に加えて、橋の安全パトロールや定期点検を行い、その結果を踏まえた**修繕計画の見直しを継続**します。

4-橋梁長寿命化修繕計画により見込まれる効果

◆橋梁長寿命化修繕計画に基づいた適切な管理をすることによって、橋の寿命を延ばすことが可能となり、事後保全型の場合と比較して将来的には**約 38.5%のコスト削減効果**が期待できます。



今後 50 年間の累計事業費の対比

5-今後の予定

◆羽咋市では、この計画に基づいた補修工事を令和 2 年度より行っていく予定です。

6-意見を頂いた学識経験者

◆この橋梁長寿命化修繕計画は、専門知識を有する学識経験者から助言を頂いています。

金沢工業大学 工学部環境土木工学科 田中泰司 准教授